

第1学年英語科学習指導案

令和2年11月9日(月) 5校時

1年2組 生徒数 21名

指導者: T1 森原 朋生、T2 谷岡 大洋

ALT: Levi Malcolm

【学習指導要領 領域別目標】(「話すこと [発表]」ーイ)

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

【「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標】(第1学年 領域名「話すこと [発表]」)

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモをもとに整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

【学習指導要領における言語活動】(「話すこと [発表]」ーイ)

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

【単元ゴールとしての言語活動】

小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す活動。(ビデオレター)

1. 単元名 Program7 “The Wonderful Ocean” (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2. 単元について

(1) 単元観

本単元は、由紀とマイクが北海道の釧路沖でシャチウォッチングに参加する場面から始まる。シャチウォッチングのガイド笹森琴絵さんに説明を受ける中で、2人の海洋生物への興味が高まる。笹森さんは北海道在住で、海洋生物の調査、撮影、そして大学の講師として海洋生物について講義を行っている実在の人物である。笹森さんの活動を知ることによって、海洋生物やそれを取り巻く人間の生活にも思いを巡らせることができる題材である。

本単元の主な言語材料は疑問詞 who と when、目的格の代名詞 her/him である。who や when は日常会話でも頻出する疑問詞であり、既習の what や how と関連付けて疑問詞の文構造について整理できる。また、her/him についても普段からよく使われる代名詞であり、既習の主格の代名詞 she/he や所有格の her/his と対比させ定着させることができる。

本単元は、海洋生物やそれを研究する笹森さんについての説明を中心に展開する内容となっている。そのため、目的格の代名詞 her/him で人物に対する自分の気持ちを表したり、疑問詞 who や when 用いて

さらに詳しい情報を得ようとしたりする表現が出てくる。これらの言語材料を使って、人物や物事を紹介したり、それについて質問したりすることができる。また、笹森さんの説明を通して、説明することに必要な内容や方法を学ぶことができる。そこで、単元ゴールを「小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて説明する」とこととした。単元を通して、人物や物事を説明する言語活動を設定し、分かりやすく説明したり、興味を引くように紹介したりすることで、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをメモをもとに整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる」資質・能力の育成を図りたい。

(2) 生徒観

1 学期末に実施した授業評価アンケートでは、「自分の考えをしっかりと持ち、話す、書くなどの表現ができていますか」について肯定的評価が 100%、「お互いの意見を交流する中で、自分の考えが変化したり、より確かなものになったりしていますか」について肯定的評価が 95.0%と高い結果であった。また、授業に対する自由記述欄には、「中学校へ入っているんな一般動詞や be 動詞などが出てきて、すごく英語力が上がっている気がする」「いざというときに少しでも話せたら役立つと思うので、もっと話せる単語を増やしたい」など、前向きなコメントを書いている生徒が多い。

1 学期に行ったパフォーマンステストの自己紹介では、A 評価 75%、B 評価が 25%であった。簡単な話題であれば、小学校で習った表現なども思い出しながら会話をすることができる。一方で、英語の発音とスペルの関係が結びつかず、英語を読むことや書くことを苦手と感じている生徒も数名いる。

Program5「国際フードフェスティバル」、Program6「由紀のイギリス旅行」では、指定された人や、自分の好きな人物やキャラクターについて紹介する活動を行った。また、教科書のイラストを使って本文のリテリングをし、それをノートに書くという活動も継続的に行ってきた。メモを見て、ある程度の長さの英文を話すことはできるようになってきたが、文法の正確性や文章のまとまりといった部分ではまだ不十分である。

(3) 指導観

本単元では、来年度入学する 1 年生が安心して中学校に入学できるように、英語で中村西中学校を紹介することを単元ゴールとしている。予め中学生から小学生に向けてビデオレターを送り、中学校に対する期待や不安、疑問などをアンケートでたずねて小学生のニーズを把握した上で、何をどのように紹介するのか考える。また、小学生が理解できる英語や、興味を持てる文章の構成にも配慮するように促す。本単元でも“Do-Learn-Do again”で Try & Error を繰り返しながら、より相手に伝わる内容になるように、表現の幅を広げたり、表現方法を工夫したりできるよう指導していきたい。そのために、生徒が興味を持てる導入の工夫や ALT の活用を行いたい。

Program7 で扱う疑問詞 who や when については、これまでもクラスルーム・イングリッシュや帯活動の Talk & Report の中で“Who is this?”や“When is your birthday?”などの形で導入している。また、代名詞の目的格 her/him についても、身近な人の紹介等で使用している。この単元ではこれらの表現がどういった場面で使われるのかを意識させ、まずは話すことを十分に行った後、書くことで定着を図っていききたい。

単元のゴール活動である「小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、事実や自分の考え、

気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す活動」に向けて、教科書本文のリテリングをしたり、中村西中学校の教員やイベント等について即興的に説明したりする活動を行う。これまでの単元のリテリングでは、教科書の絵や写真から見えることを中心に話していたが、本文の内容を活用したり、自分の考えや意見を加えたりして話させたい。また、リテリングする内容をマッピングで整理し、話す際のメモとして使用させることで、まとまりのある英文を話すことができる力を身に付けさせたい。本校についての言語活動を行う際にもアイデアを出す際にはマッピングを使って展開を整理させる。これらの活動の中で、どうすれば相手に事実を正確に伝えられるのか、どうすれば聞き手に興味を持って聞いてもらえるのか、といった点を工夫しながら文章を構成する力を、単元を通して付けていきたい。そのために、中間評価を行い、事実だけではなく自分の考えや気持ちを述べたり、つなぎ言葉（also, and, because など）を用いたりして文章としてまとまりがあるように意識させる。特に、単元ゴールの中村西中学校の先生やイベントを紹介する活動を行う際には、小学生のニーズに合っているかや、状況（中学校にあがることを不安に思っているのか、部活を楽しみに思っているのかなど）に応じて、伝える内容や表現を振り返って改善するよう促す。

また、スピーチをする際には、声の大きさや表情に加え、相手に問いかけたり、問いかけた後に考える間を取ったりすることにより、聞き手を意識したスピーチとなるよう留意させたい。

3. 研究主題との関連

本校の研究主題：「生徒が本気で取り組み、力をつける授業づくり」

～対話や議論を生む課題設定の研究を通して～

- ①生徒が主体的に取り組めるように、小学生に中村西中学校について紹介するというゴール活動に向けて、スモールステップを踏んで活動を仕組む。
- ②考えがより深まったり広がったりするように、他の生徒と意見を交換したり、ALT の意見を参考にしたりする。

4. 単元の目標

小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、相手意識を持って簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

5. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<知識> ①疑問詞 who, when を用いた文の構造を理解している ②代名詞の目的格を用いた文の構造を理解している <技能> 中村西中学校の先生やイベン	小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している	小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベントなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている

ト、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、代名詞の目的格などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている		
---	--	--

6. 採点の基準（ルーブリック）

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を概ね満たしていれば「b」としている。

条件1：事実を正確に伝えている。
条件2：事実に自分の考えたことや感じたことなどを付け加えている。
条件3：中村西中学校について紹介するための自然な流れで話している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる	事実に自分の考えたことや感じたことを付け加えたり、興味を引く流れとなるように工夫しながら、3つの条件を満たして話している	事実に自分の考えたことや感じたことを付け加えたり、興味を引く流れとなるように工夫しながら、3つの条件を満たして話そうとしている
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる	3つの条件を概ね満たして話している	3つの条件を概ね満たして話そうとしている
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

パフォーマンステスト【話すこと [発表]】

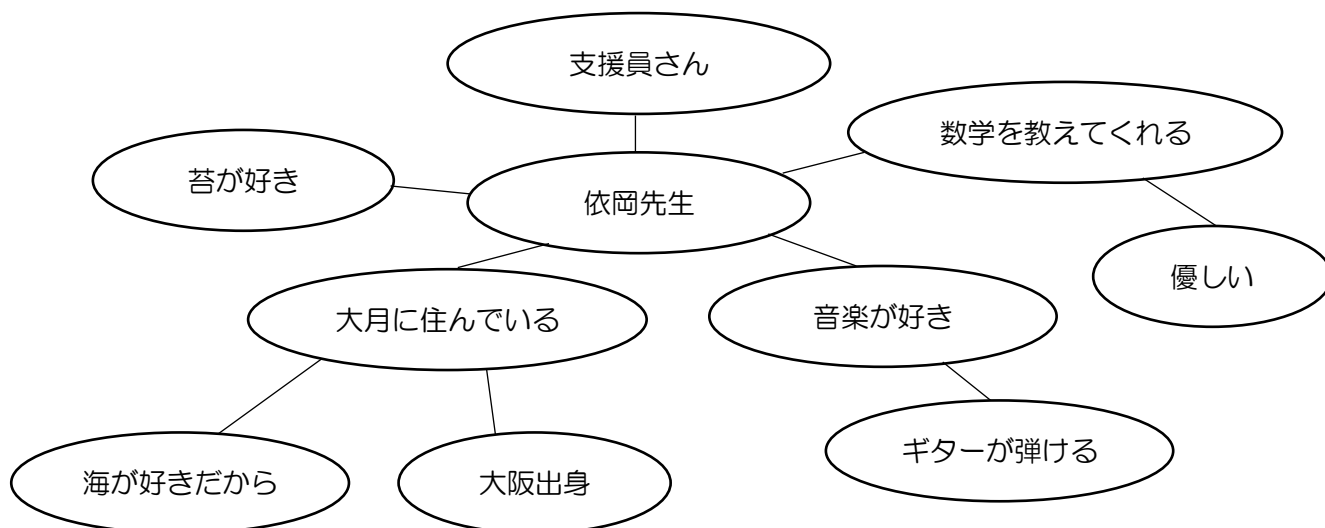
（中村西中学校に今年度赴任した教職員について、マッピングで整理をし、ALTに説明するテスト）

○A 評価の表現（例）

Hello. I will tell you about our teacher. This is Mr. Yorioka. He is a support teacher at Nakamuranishi JHS. He lives in Otsuki. He likes moss. And he can play the guitar. Do you play the guitar? I like him because he is very kind. Thank you.

○B 評価の表現（例）

This is Mr. Yorioka. He is a support teacher at Nakamuranishi JHS. He lives in Otsuki. Also, he likes moss. He can play the guitar. He is very kind. So, I like him.



7. 単元計画 (全8時間)

時	○指導のねらい (目標) ・学習内容、学習活動	評価				
		知	思	態	評価規準 評価方法	
1	☆本単元の見通しを持つ 来年度入学する小学 6 年生に、入学が楽しみになるように、中村西中学校を紹介するビデオレターを作ろう！ ・事前に小学生に書いてもらったアンケート結果を見て、小学生のニーズをつかむ ○“Who is this?” ゲームをする中で、疑問詞 who を用いた文の構造を理解する ・“Who is this?” ゲームをする ・疑問詞 who を用いた文の構造についてノートにまとめる ・ワークブック	○			ア<知識>① 形 疑問詞 who を用いた文の構造を理解している She is a science teacher. She plays tennis. She is young. Who is this? →She is Ms. Kojima.	後日ペーパーテスト (活動の観察、ワークブック点検)
2	○教科書本文を読んで、シャチのニックや笹森さんについて事実を説明する ・Program7-1 の読み取り ・教科書の本文やイラストを用いて、シャチウォッチングの様子についてリテリングする ・話したことについてノートに書く	○			ア<技能> 形 シャチのニックや笹森さんについて、事実を説明する技能を身に付けている This is Nick. He is an orca. He's the head of his family. She's Ms. Sasamori. She studies orcas, dolphins, and	後日パフォーマンステスト (ノート点検)

					whales.	
3	<p>○中村西中学校の先生（数名）について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理してまとまりのある内容で説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア①（紹介カード…マッピングになっているもの） ・他の生徒の発表を聞いて参考にする ・代名詞の目的格 him/her を用いた文の構造について知る ・ペア②（紹介カード） ・話したことについてノートに書く 	○			<p>ア<知識>②</p> <p>形 代名詞の目的格を用いた文の構造を理解している</p> <p>ア<技能></p> <p>形 中村西中学校の先生について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、代名詞の目的格などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている</p> <p>This is Mr. Kuramoto. He is a PE teacher. He is good at volleyball. Also, he can dance very well. I like him very much because he is funny.</p>	<p>後日ペーパーテスト（活動の観察、ノート点検）</p> <p>後日パフォーマンステスト（活動の観察、ノート点検）</p>
4	<p>○教科書本文を読んで、シャチの生態について事実や自分の気持ちをまとまりのある内容で説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Program7-2 の読み取り ・教科書の本文やイラストを用いて、シャチの生態についてリテリングする ・話したことについてノートに書く 	○			<p>ア<技能></p> <p>形 シャチの生態について、事実や自分の気持ちをまとまりのある内容で話す技能を身に付けている</p> <p>This is Nick. He has a beautiful big fin on his back. This is a mother orca. And this is her baby. The baby always follows her. It's very cute.</p>	<p>後日パフォーマンステスト（活動の観察、ノート点検）</p>
5	<p>○中村西中学校のイベント（運動会・つどい祭）について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理してまとまりのある内容で紹</p>	○			<p>ア<知識>①</p> <p>形 疑問詞 when を用いた文の構造を理解してい</p>	<p>後日ペーパーテスト（活動の観察、ワ</p>

	<p>介する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Talk & Report “When do you clean your room?” ・ 中村西中学校のイベントについて紹介する ・ ペア① (Hexagon Dialogue) ・ 他の生徒の発表を聞いて参考にする ・ ペア② (Hexagon Dialogue) <p>A: What is your favorite event? B: It is sports day. A: When do you have it? B: We have it in September. A: What do you do on sports day? B: We run and dance. It's fun.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会・つどい祭、いずれかのイベントについて紹介する ・ ワークブック 				<p>る</p> <p>ア<技能></p> <p>形 中村西中学校のイベントについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、代名詞の目的格などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている</p> <p>My favorite school event is sports day. We have it in September. We run and dance. It's fun. So, I like sports day.</p>	<p>ークブック 点検)</p> <p>後日パフォーマンス スト (活動の 観察)</p>
6	<p>○教科書本文やイラスト用いて、イルカの生態について、事実や自分の気持ちなどを整理し、まとまりのある内容でリテリングする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Program7-3 の読み取り ・ 教科書の本文やイラストを用いて、イルカの生態についてリテリングする ・ 話したことについてノートに書く 	○			<p>ア<技能></p> <p>形 イルカの生態について、事実や自分の気持ちなどを整理し、代名詞の目的格などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている</p> <p>This is a dolphin. He/She can jump very high. It's amazing. They come to Murooran in summer. They eat fish and raise their babies. They are very cute. So, I like them.</p>	<p>後日パフォーマンス スト (活動の 観察、ノート 点検)</p>
7 (本時)	<p>○小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、相手意識を持つ</p>		○	○	<p>イ</p> <p>形 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校</p>	<p>後日パフォーマンス スト (活動の 観察、ノート</p>

	<p>てまとまりのある内容で紹介する</p> <p>【ビデオレターの作成に向けて（1）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のアンケートから、ニーズを再確認する ・紹介したい先生やイベント、部活を一つ選び、マッピングを書く ・マッピングをもとにペア①で紹介し合う ・他の生徒の発表を聞いて参考にする ・ペア②で紹介し合う ・話したことについてノートに書く 			<p>の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している</p> <p>ウ</p> <p>形 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている</p> <p>This is our soccer club. I like soccer very much because it is fun. We have 20 members. We practice every day. Our team is strong. Also, our coach is very nice.</p>	<p>点検)</p> <p>後日発表、後日パフォーマンステスト (活動の観察)</p>
8	<p>○小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを再構築し、相手意識を持ってまとまりのある内容で紹介する</p> <p>【ビデオレターの作成に向けて（2）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Your Friends' essay を読む (良いモデル・改善が必要なモデルを提示) ・Your Friends' essay を参考にして、自分の紹介文を改善する ・ペアで発表する ・他の生徒の発表を聞いて参考にする ・グループで最終発表をする ・発表したことについて書く ・単元の振り返りをする 	○	○	<p>イ</p> <p>形 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している</p> <p>ウ</p> <p>総 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活</p>	<p>後日パフォーマンステスト (活動の観察、ノート点検)</p> <p>活動の観察</p>

	※ビデオレターは放課後などの時間を使って撮影する			などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている <u>Hello. This is our soccer club. Do you like soccer? I like soccer because it is fun. We have 20 members. We practice every day. Our team is strong. Also, our coach is very nice. Please come to our soccer club!</u>	
後日	ペーパーテスト ・疑問詞 who, when を用いた文の構造の理解を問う問題 ・代名詞の目的格を用いた文の構造の理解を問う問題	○		ア<知識>①② 総 ①疑問詞 who, when を用いた文の構造を理解している ②代名詞の目的格を用いた文の構造を理解している	ペーパーテスト
	パフォーマンステスト【話すこと [発表]】 ・ALT の Levi が中村西中学校に今年度赴任した先生について知って仲良くなれるように、マッピングをもとに紹介するテスト	○	○	○ ア<技能> 総 中村西中学校の先生について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、代名詞の目的格などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている イ 総 中村西中学校の先生について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用	パフォーマンステスト

					いてまとまりのある内容を話している ウ 総 中村西中学校の先生について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている
--	--	--	--	--	--

8. 本時の学習（第7/8時）

(1) 本時の目標

小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、相手意識を持ってまとまりのある内容で紹介することができる

(2) 本時の評価規準

イ 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している

ウ 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 単元ゴールを確認する 		
	来年度入学する小学6年生に向けて、入学が楽しみになるように、中村西中学校を紹介するビデオレターを作ろう！		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生のニーズを確認する 本時のめあてを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生のアンケートを提示し、ニーズを意識させる 	
	小学生のニーズに合わせて、入学が楽しみになるように中村西中学校について紹介しよう！		
		<ul style="list-style-type: none"> 主体的に紹介できるように、小学生の様子を伝える (ALT) 	

<p>展開 (35分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい先生やイベント、部活を一つ選び、マッピングを書く ・マッピングをもとにペア①（横ペア）で紹介し合う ・友達の発表を聞き、改善点を確認する ・ペア②（内容別）で紹介し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生のニーズに合う内容になるように促す ・机間指導を行いながら、中間評価で共有を図りたい生徒の表現を見つける（T2） ・発表を聞いてさらに情報を付け足すために質問をする（ALT） ・小学生に興味を持ってもらえるように、内容を工夫するように促す（具体的に説明することや、自分の気持ちを入れると良いことに気付かせる） ・生徒が視覚的に整理できるように、生徒の発表や加える表現を板書する（T2） ・小学生に分かりやすいように、つなぎ言葉を入れるように促す ・言いたかったけれど言えなかった表現の確認をする 	<p>イ形 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している（活動の観察、ノート点検）</p> <p>ウ総 小学生に中村西中学校について知ってもらえるように、中村西中学校の先生やイベント、部活などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている（活動の観察）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>This is our soccer club. I like soccer very much because it is fun. We have 20 members. We practice every day. Our team is strong. Also, our coach is very nice.</p> </div>
<p>まとめ (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対して、どのような点を工夫したか振り返る ・話したことについてノートに書く 	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中村西中学校の先生や部活、イベントの様子が伝わるように、具体的に伝える ○自分の考えや気持ちを入れる ○小学生に分かる英語で伝える <ul style="list-style-type: none"> ・スペルや文法などについて個別に支援する 	

9. 板書計画

<p>単元ゴール</p> <p>来年度入学する小学6年生に向けて、入学が楽しみになるように、中村西中学校を紹介するビデオレターを作ろう！</p>	<p>Today's Goal</p> <p>小学生のニーズに合わせて、入学が楽しみになるように、中村西中学校について紹介しよう！</p>	<p>つなぎ言葉</p>
<p>Monday, November 9th sunny</p>	<p>This is our soccer club.</p> <p>I like soccer very much because it is fun. (気持ち・理由)</p> <p>We have 20 members. (部員数)</p> <p>We practice every day. (頻度)</p> <p>Our team is strong.</p> <p>Also, our coach is very nice. (人柄や特徴)</p>	<p>because</p> <p>Also,</p> <p>So,</p> <p>And</p>
		<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">○具体的に(様子が伝わるように)○自分の考えや気持ち○小学生に分かる英語

「英語科授業づくり講座」においては、学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）に示された育成すべき資質・能力の 3 本柱に基づいた評価の研究を行っており、評価規準についても新しい観点で評価します。本指導案を本年度中に自校でご活用の際は、平成 29 年 7 月 7 日付け「小学校及び中学校の学習指導要領に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について」（文部科学省 通知）に記載されておりますように、現行の学習指導要領の下の評価規準等に基づいて適切に指導・評価を行うようにしてください。